

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平 1 - 99795

⑤ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 平成 1 年 (1989) 7 月 4 日

B 63 B 39/10

8309-3D

審査請求 有 (全 3 頁)

④ 考案の名称 水中気泡群による着棧中の船舶揺れ防止施設

② 実 願 昭 62 - 195848

② 出 願 昭 62 (1987) 12 月 25 日

⑦ 考 案 者 伊 飼 通 明 大阪府枚方市中宮北町 17 番 5 - 204 号

⑦ 考 案 者 原 正 一 東京都東久留米市新川町 1 丁目 19 番 14 号

⑦ 考 案 者 波 江 貞 弘 東京都小平市仲町 644 番 28

⑦ 出 願 人 運輸省船舶技術研究所 東京都三鷹市新川 6 丁目 38 番 1 号  
長

⑥ 実用新案登録請求の範囲

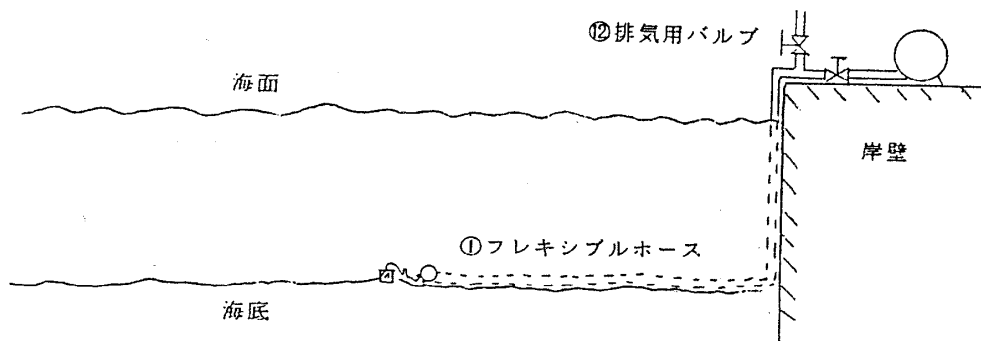
本考案は港内における他の航行中の船舶から発生する曳き波を水中気泡群により消波し、着棧中の旅客船の揺れを少なくすることを目的とした施設である。岸壁付近海底に穴 (ノズル) の空いたフレキシブルのホースを敷設し、プロアーより空気を送り、その浮力によりフレキシブルホースを海中に支持しながら気泡群を発生させ、それに伴う上昇流が海面上で水平流となり、他の船舶からの曳き波を消波する。このことにより旅客船の揺れを減少させ、着棧中における出航までの待ち時間内における乗船客に船酔い等の不快感を与えないことを特徴とするものである。本装置を使用し

ない時は、他の船舶の航行の妨げとなるので、重りによりフレキシブルホースを海底に沈める。

図面の簡単な説明

第 1 図は、本考案の一実施例を示す平面図。第 2 図は、第 1 図 A-A' の断面図。第 3 図は、第 1 図 B-B' の断面図。第 4 図は、フレキシブルホースの部分図。第 5 図は、第 1 図 A-A' の断面図。

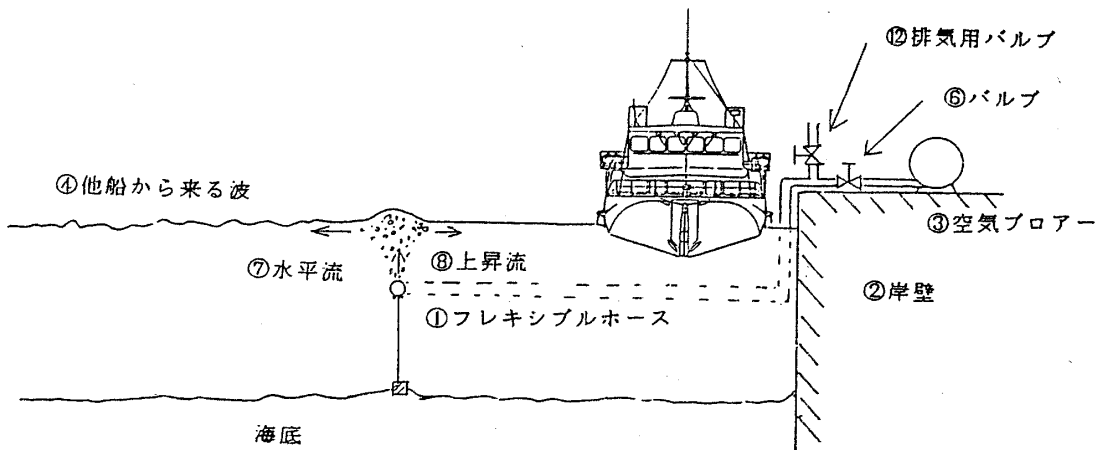
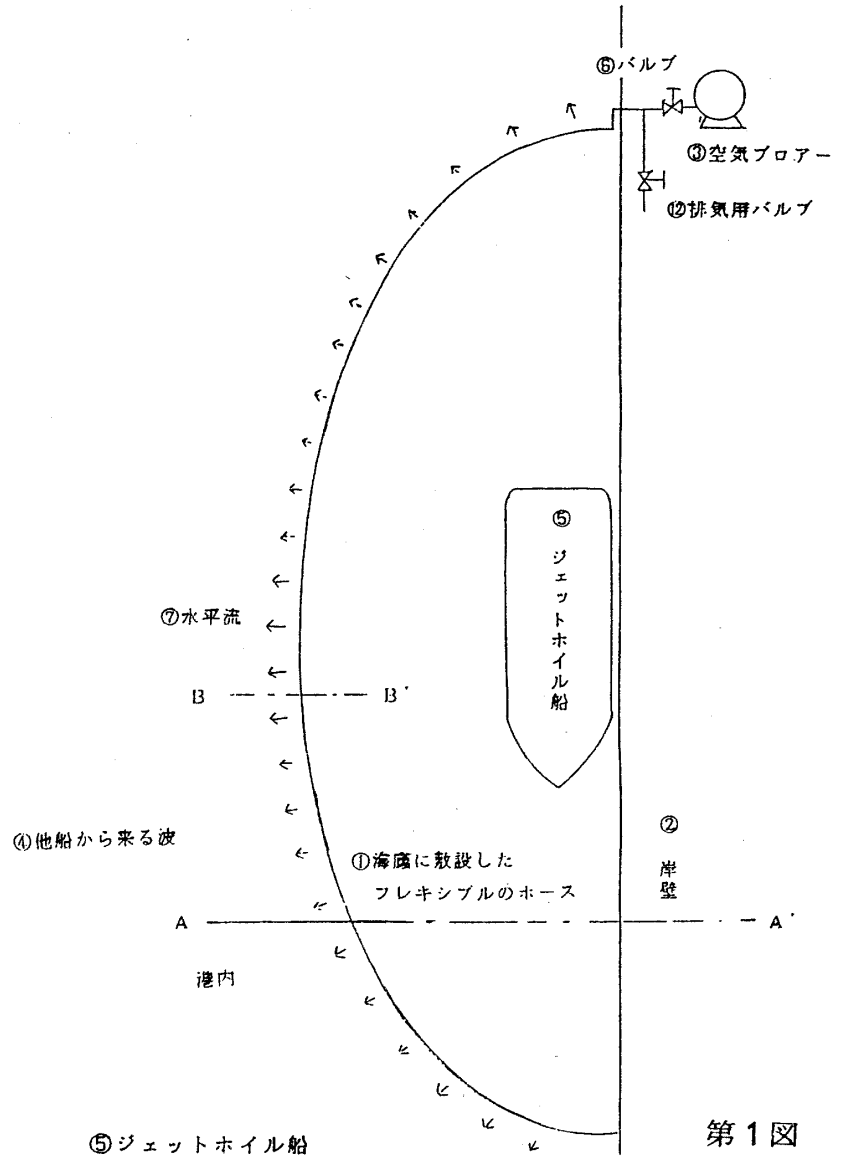
①…海底に敷設したパイプ、②…岸壁、③…空気プロアー、④…他船から来る波、⑤…ジェットホイル船、⑥…バルブ、⑦…水平流、⑧…上昇流、⑨…重り、⑩…コンクリートブロック、⑪…ワイヤー、⑫…排気用バルブ。



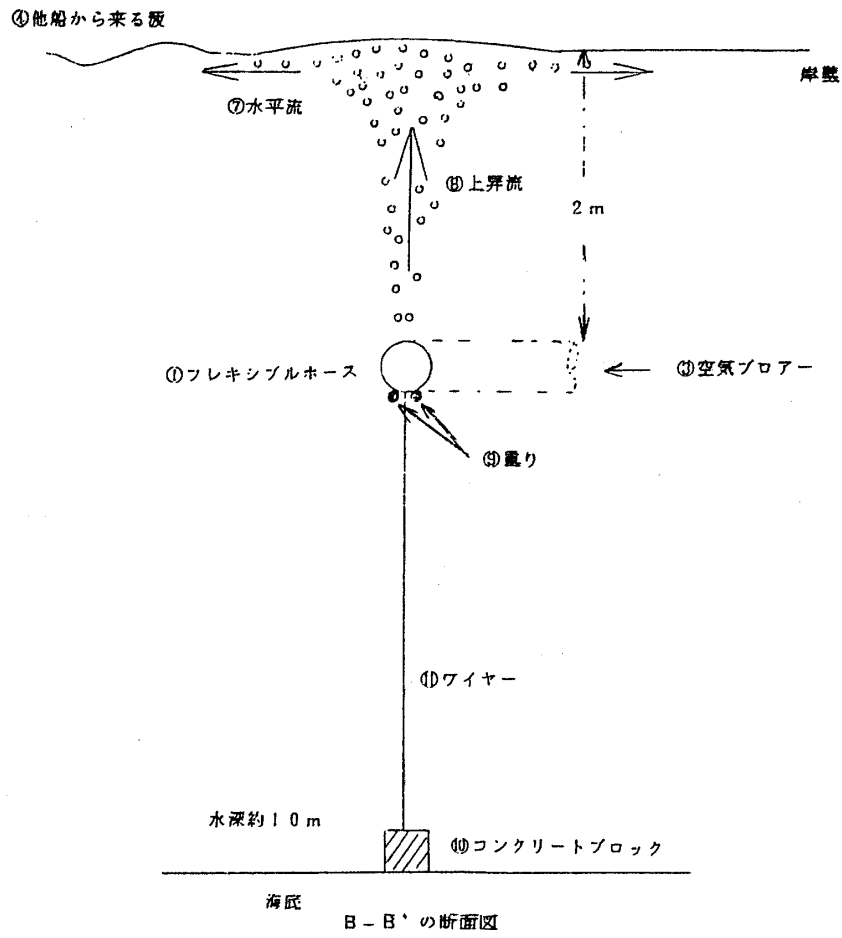
本装置を使用しない時の状態

A - A' 断面図

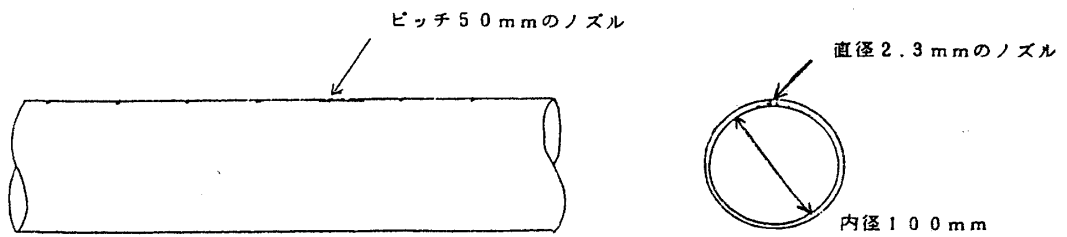
第 5 図



第2図



第3図



①フレキシブルホースの部分図

第4図